

8月24日（水）高校生との座談会を実施しました！

対談テーマ

一緒に語ろう！創ろう！明日の学校！

子どもの意見を聴き、子どもとともに創る教育施策を目指し、子どもたちの学び力の育成の方向性やこれからの本県の教育政策の基本的な方向性について、現役高校生と県教育委員とが対談しました。

参加した委員

福永 忠克 教育長 土井 真一 委員

岡崎 正彦 委員 窪田 知子 委員 野村 早苗 委員



参加した高校生の皆さん

委員の質問に対して、現役高校生ならではの率直な意見をそれぞれの立場から積極的に発言していただきました。皆さんの声を、滋賀の教育に生かしていきます。



参加校：膳所高校、彦根東高校、長浜北星高校、伊香高校、八幡商業高校、
草津東高校、水口高校、安曇川高校、八日市南高校

意見交換より

<語ろう！学びについて>

委員：社会に出ると答えがない問題が多く、机の上だけでは学べないことがあると思いますが、高校生の間に身につけていきたいことがあれば、教えてください。

高校生：八幡商業高校では、総合実習という科目で、3人1組で会社を起業して利益を出すという授業をやっています。商業科であるからこそ、社会に出たときに困らないように学んでいけると思っています。

高校生：農業高校では、個人ではなく班で、年単位ではなく複数年で取り組んでいます。例えば、自分たちが作った牛乳を広めるためにどうすればよいかということ先輩から受け継いで進めています。一つの課題でも、1年間では解決できないことがあり、2、3年生から受け継ぐ形でやっていけば、交流もでき、さらに大きな課題が解決できると思いました。



委員：タブレット端末などのICT機器の効果的な使い方についてどう思いますか。

高校生：授業で問題を早く解き終わった時に、タブレットを用いて、個に応じた課題ができるとういと思います。

高校生：小テストなどをタブレット端末でできるようにして、分析ツールを使って、その結果が分かるようにできたらよいと思います。

高校生：数学の問題集がタブレットに入っていて、問題を解いた後すぐに結果を把握できます。学習の進捗や苦手な問題の復習などを自動的に分析してくれるので学力の向上につながると思います。

高校生：部活動でもタブレットを使えるとよいと思っています。自分の動きを動画で撮ったり、コロナ禍で会えない時は、個人練習の様子を撮影してコーチや監督に見てもらったりするなど活用の方法があると思います。

<語ろう！学校について>



教育長：滋賀県では、「うみのこ」「やまのこ」などの滋賀ならではの体験学習に取り組んでいます。体験学習について感じていることや、考えを聞かせてください。

高校生：「うみのこ」でできた他校の友達と、中学校で再会したという話を聞きました。友人関係を広げられる素敵な学習だと思います。

高校生：「やまのこ」で自然環境のことを学び、ゴミ拾いなどをしました。山や環境のことを学べるので継続してほしいと思いました。

委員：部活動で外部の方に指導を受けたことについて、どう思っているか教えてください。

高校生：地域クラブで教えておられる方に、専門的な知識や技能について教えてもらい、成長につながりました。

高校生：全国大会に出場された方に指導をしていただいています。間近で具体的に指導くださるので、すごく分かりやすかったです。



司会：魅力ある高校づくりを進めるにあたり、みなさんの考えを教えてください。

高校生：学校のHPはあまり見ないと思うので、学校の行事の様子をSNSで広報するなど、時代に合った広報が必要だと思います。

高校生：施設だけでなく、実習や普段の授業などをよく知ってもらうことが大切だと思います。

高校生：高校の入学説明会や体験入学は、中学3年生を対象にしていることが多いと思いますが、1,2年生でも参加できると、よりよい高校選びができると思います。

座談会を終えて

【高校生の感想】

- 他校の方の意見を聞けたことで、自分の学校だけでなく、滋賀県の高校の全体的な課題を考えることができました。有意義な対談に参加できて本当によかったです。
- 滋賀県の現状を広い視野で見ている方ばかりで、自分の考えと比較することができました。各校の特色や環境の視点からの意見も聞くことで、他校について知るきっかけになりました。
- このような貴重な対談ができて本当に嬉しく思います。みんなの意見を聞くことで自分の考えが変わりました。自分は生徒会に入っているのでこの経験を活かしてもっと良い学校にしたいと思いました。
- 県教育委員会がよりよい教育を作り上げていこうという姿勢を前面に出していることがとても伝わってきました。今回の対談を通してより身近なところに目を向け、課題を発見しようとする視点を得ることができたように思います。
- 委員の皆さんも、我々生徒側も課題を感じていてそれをお互いに共有でき、また委員の方々側の率直な意見を聞くことができて良かったです。
- 他校の方々の意見には共感することや、逆に学年が異なるからこそ違う考え方もありとても楽しかったです。
- 他校での様々な活動について聞くことができ、「私の通う学校でもここを取り入れたら面白くなるんじゃないか」など今回の対談を通じて考えを深めるきっかけができたと思います。
- 序盤は緊張していましたが、委員の皆さんの優しさで緊張が解け、すぐに打ち解けることができ、言いたいことははっきりと伝えて有意義なものになりました。

【教育委員の感想】

- 高校生の皆さんが、それぞれに充実した学校生活を送りながら、学校の在り方について真剣に考えていただいていること、そして、その思いを率直に話していただいたことに感銘を受けました。今後、滋賀の県立高校の魅力化を考えていく際には、高校生の皆さんの意見をしっかりと受け止めていきたいと思います。
- 生徒たちが社会に出た時に「これは自分にもできる」「こうやればもっと効果的だ」と実感できる力を3年間で身につけたと言えるぐらいに、学校、教育委員会のフレキシブルな対応へ早急にチェンジしていくべきと思います。
- ICT 機器の活用については、高校生全員から積極的な発言があり、今の高校生にとって、“使いこなす”ことが当たり前のツールとなりつつあることがよくわかりました。ICT 活用に関しては、ここ数年で劇的な変化を迎えていると思いますので、誰一人取り残さないように、迅速かつ丁寧に対応を検討していければと思います。
- 現役高校生の皆さんとの対談はとても実のある時間でした。今、高校生活を送られている生徒さんたちの生の声として率直に思っていることをお話しされたので、しっかりと受け止め改善できるところは改善し、良いところはもっと伸ばしていけるよう支援できるといいと思います。